

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 森の宮福祉会	代表者	石塚 克哉	法人・事業所の特徴	基本理念「笑顔・まごころ・ハーモニー」を念頭に寄り添う介護、支援を職員一同取り組んでいます。「通い」を中心に「訪問」「泊り」を組み合わせたサービス提供を行っています。音楽を取り入れたリハビリやレクリエーションにも力をいれています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ハミングベル緑橋	管理者	小栗 健太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	1人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	意識的に取り組めるようにフロアに掲示すると共にフロア会議の議題に上げ、定期的に見直しを行なっていく。	全体的に取り組めており、特に職員間の情報共有は出来ている。共有した情報を記録に落としこめていないことがある。	情報共有の方法として記録という形で残すことに課題が残ったがそれ以外の項目はポジティブに取り組んでいる。	各項目の改善計画を取り組みやすいように業務の中に取り入れ、日頃から継続して行なえるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	整理整頓や季節に応じた環境作りを心がけ、利用する方が落ち着いてもらえる雰囲気作りをしていく。	過ごしやすい環境になるように整理整頓を行ない、季節を感じられるような壁画を利用者と共に作成している。	環境面で不快に感じられることはない。家族や地域の方が事業所に入るにあたり、入りにくいと感ずることはない。	落ち着きやすい環境を作るために季節に応じた飾りや利用者に合わせてレイアウト変更したり、落ち着く場所を提供したりしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事に参加し地域と協働した取り組みを引き続き行なっていく。また地域への外出の機会を増やして関わりを多く持つ。	地域行事に参加したり、地域の方が施設の行事に参加したりしてもらうなど関わりを持つ機会を作っている。	地域への関心が高く、色々な行事に参加し地域の盛り上げに貢献している。	地域行事に参加したり、地域への外出の機会を増やしたりして、地域との関わりを多くもつ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	それぞれの利用者の住む地域資源を整理し、必要時利用できるように働きかける。それぞれが住む地域の方との情報共有も行なっていく。	東成区での地域資源を把握したり必要時に提供したりしているが、他の区の地域資源の把握があまり出来ていない。	東中本地区に居住している利用者は地域資源や行事、イベントを利用している。それぞれの地域の資源や行事に沿うのは難しい事だと思う。	地域資源を把握して情報提供すると共に必要に応じて地域の方との連携、会議を行ない地域での暮らしを支えていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で日頃の取り組みを報告し、改善点等の意見を頂き事業所の運営に反映していく。	運営推進会議では、行事や事故などを報告し、頂いた意見を受け入れ運営にいかしている。	運営推進会議では日常の報告で良いと思います。地域の心配な方の事例検討は個人情報もあるので難しいと思う。	行事や事故の報告を通して事業所を知ってもらい、改善点等の意見をいただく。改善点は運営に取り入れ、そのことについても報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	実際に災害が起きた場合の地域との連携のとり方を、地域での防災訓練に参加するなど確認していく。	地域の方に協力していただき防災訓練を行なっている。災害時の地域との連携のとり方は今後も検討が必要。	地域に協力してもらい消防訓練を行なっている。台風の時や警報が出た時の事業所の対応や動きを会議で報告してもいいかも。	地域の方と協働して消防訓練を行なう。また地域との連携のとり方や対応内容を定めていく。